

## 「間取り（平面図）を描こう！」

～製図例 2 - 1 平面図を使用して、1/100の内容を1/50スケールで描く～

1. 題材感：初めて描く建築製図である。図面表現 1/100 平面図を 1/50 で描くことで製図になれ親しみ基本的な作図ルールを身につけさせたい。
2. 到達目標：木造平家建住宅の基本的な平面図の表現方法と描き順を理解させる。
3. 配当時間：50分×8コマ
4. 展開

学習過程	時配	学習内容と活動	教師の指導と支援	評価
	50	<p>間取り（平面図）を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料 1 を参考にさせる。</li> <li>図面枠、表題欄を描かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平面図の役割を説明。資料を配付する。</li> <li>1/100 の内容を縮尺 1/50 で描くことを理解させる。</li> <li>図面枠、表題欄の寸法を説明。</li> <li>線の太さによる使い分け、文字の大きさについて説明。</li> <li>「線の練習」「文字の練習」で学んだことを実践させる。</li> </ul>	描き出しの基準位置が理解できたか。（評価）
	50	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料 2 を参考にさせる。</li> <li>壁芯、柱の中心線を下書き線で描かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>三角スケールの使い方を説明。縮尺を理解させる。</li> <li>下書き線を使用するように指示する。</li> <li>机間指導。個別に助言する。</li> <li>特に進みの悪い生徒は、直接手本を見せて指導する。</li> </ul>	資料 2 の状態になっているか。（評価）
	50	<ul style="list-style-type: none"> <li>前回までの進捗を確認。</li> <li>資料 3 を参考にさせる。</li> <li>壁の厚みを下書き線で描かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>壁の種類、厚さ、柱の大きさについて説明。</li> <li>三角スケールの使い方を再度確認。</li> </ul>	
	50	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料 4 を参考にさせる。</li> <li>壁、柱を仕上げ線で描かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕上げ線について説明。</li> <li>机間指導、個別に助言する。</li> </ul>	
		<p>壁、柱が仕上げ線で描けているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ここまでの進捗状況と誤りを個別にチェックする。</li> </ul>	資料 4 の状態になっているか。（評価）

学習過程	時配	学習内容と活動	教師の指導と支援	評価
	50	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回までの進捗を確認。</li> <li>・資料 5 を参考にさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開口部の種類や線の使い方について説明。</li> </ul>	資料 6 の状態になっているか。(評価 )
	50	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開口部を仕上げ線で記入させる。</li> <li>・資料 6 を参考にさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設備機器の種類や床仕上げについて説明。</li> <li>・テンプレートの使い方を助言。</li> <li>・線の太さや種類について注意をさせる。</li> <li>・机間指導。個別に助言する。</li> </ul>	
		開口部、設備機器、床仕上げが仕上げ線で描けているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここまでの進捗状況と誤りを個別にチェックする。</li> </ul>	
	50	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回までの進捗を確認。</li> <li>・資料 7 を参考にさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基準線の記号や線について説明。</li> <li>・方位について説明。</li> <li>・寸法は、補助線や案内線を引いて描かせる。</li> <li>・室名は、案内線を引かせて描かせる。</li> <li>・文字の大きさを指示する。</li> <li>・机間指導。個別に助言する。</li> </ul>	完成図の状態になっているか。(評価 )  (評価 )
		寸法、室名、方位等が描かれているか。図面が完成しているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図面の自己チェック。</li> <li>・完成図面の提出。</li> </ul>	
	50	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次時の予定を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図面の表記もれや寸法の誤りが無いかチェックする。</li> <li>・平面図の役割と描き順が理解できたか確認する。</li> <li>・完成図面についての総評を行う。</li> <li>・立面図・断面図の作図を行う事を予告する。</li> </ul>	

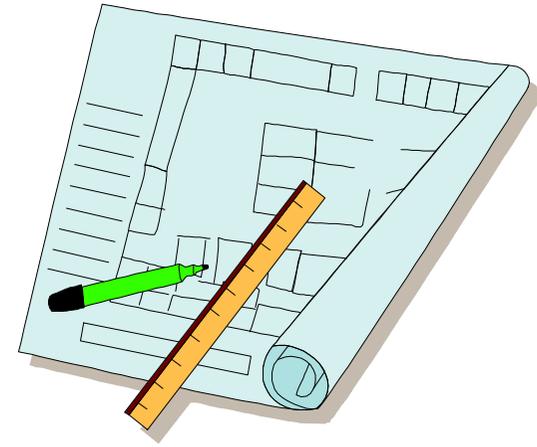
## 5. 評価

平面図の役割が理解できたか。(興味、関心)(思考、判断)

平面図の表現方法に基づく、尺度や表記(記号)が理解できたか。(知識・理解)

平面図の描き順や正しい線の使い方、寸法のおさえ方がわかったか。(技能・表現)

# 建築製図



「間取り(平面図)を描こう！」



1年\_\_組\_\_番 氏名\_\_\_\_\_

## 1. 図面枠、表題欄

- (1) 図面枠は、A3用紙の外側から1cm。  
太くはっきりとした線で描く。
- (2) 表題欄は、指定の寸法。  
小文字の大きさ3.5mm、大文字の大きさ5mmとする。

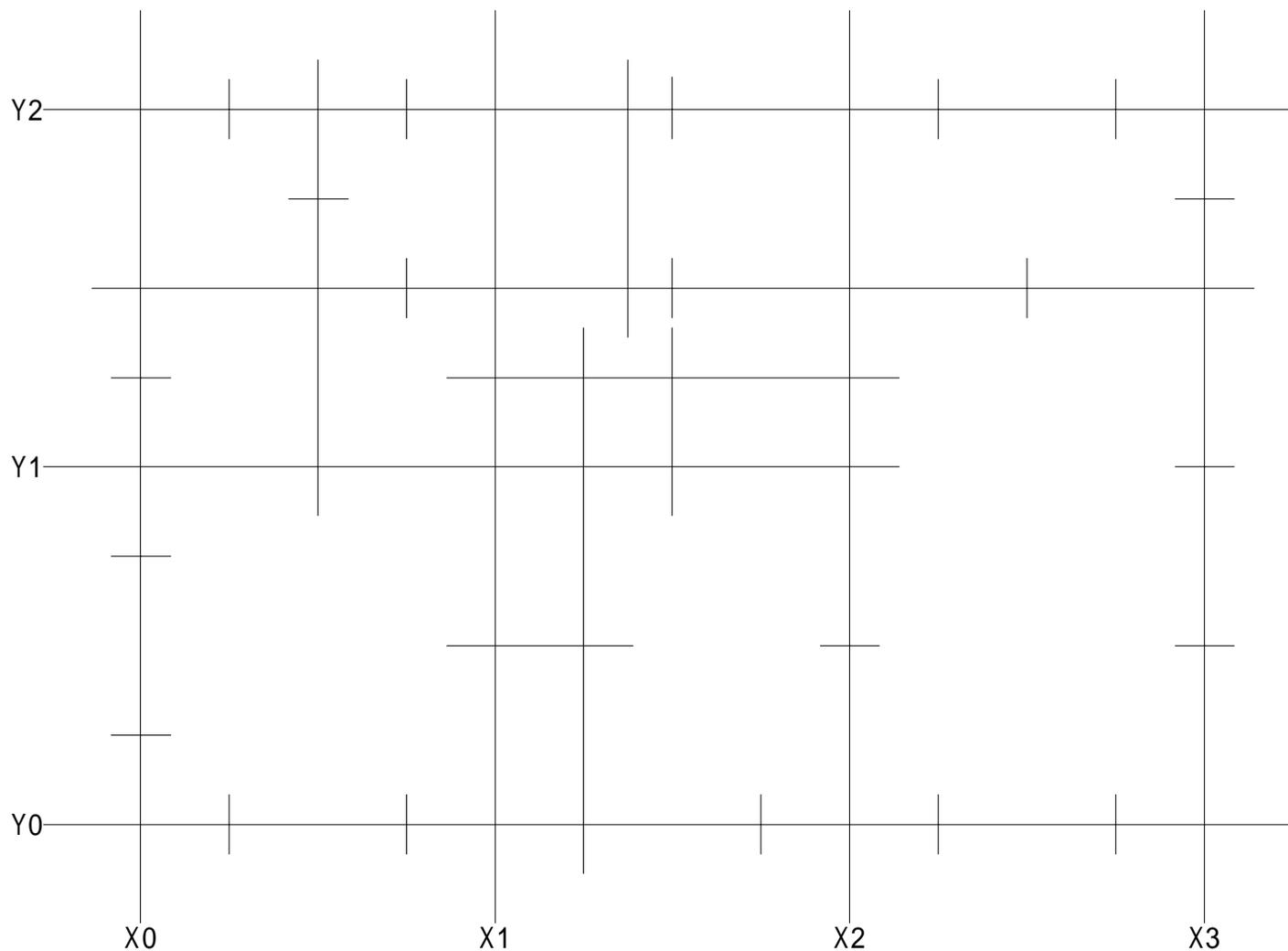
	20	60	20	30	20	45	20	45	
10	表 題	木造平屋建住宅 作図練習			学校名				
10	図 名	平面図	縮 尺	1 / 5 0	学科学年	建築科 1 年	氏 名		

## 2 . 壁芯、柱の中心線

( 1 ) 基準線 ( X, Y ) のレイアウト。

( 2 ) 壁芯、柱の中心線を決める。

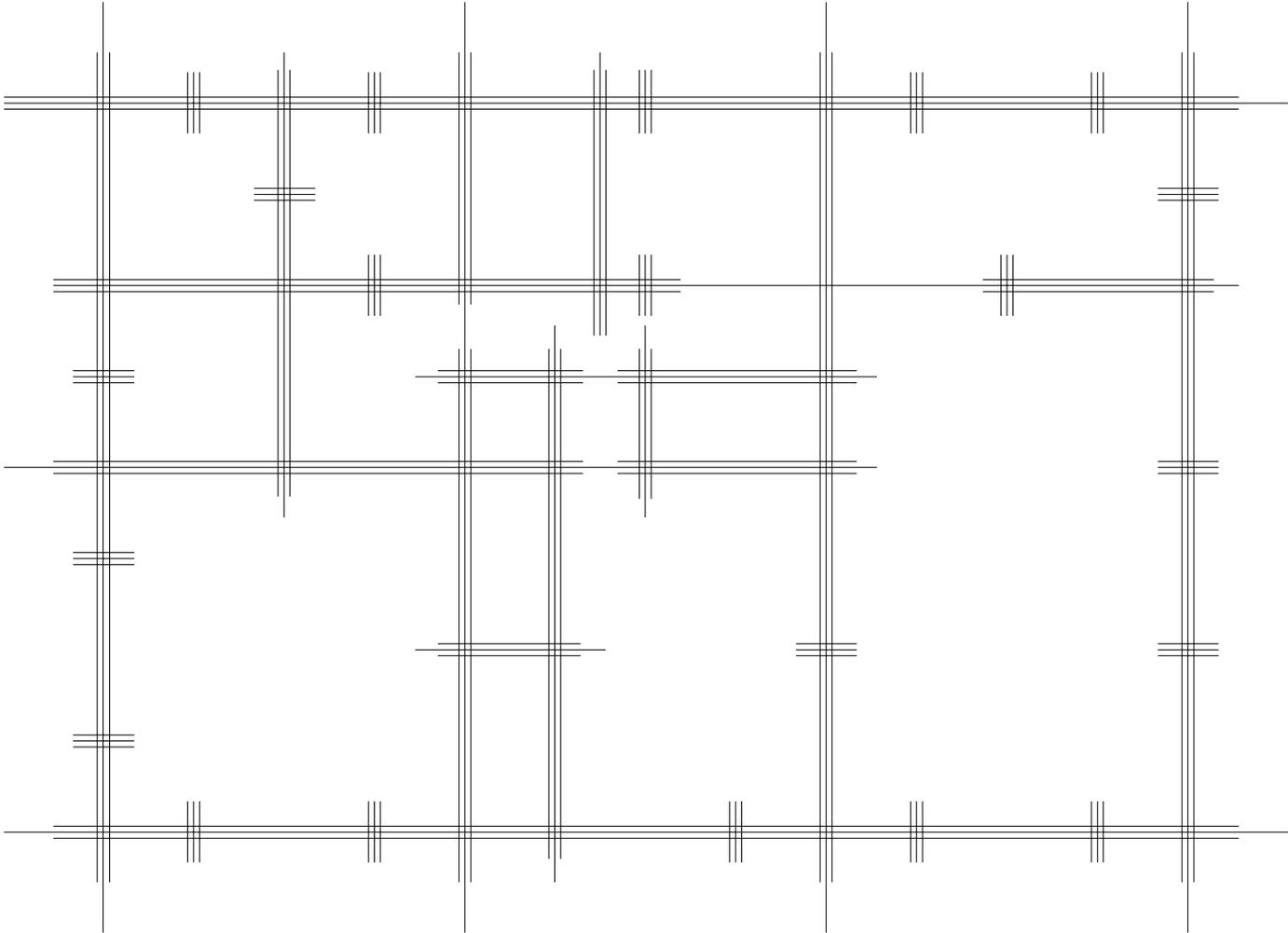
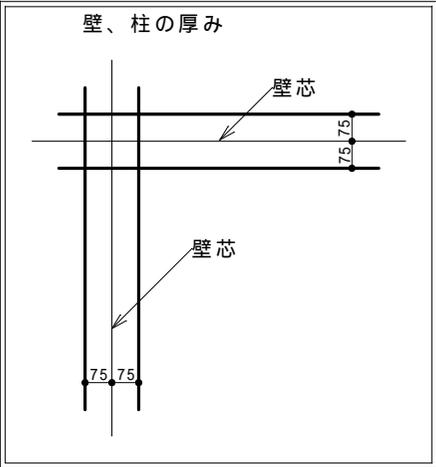
縮尺 1 / 5 0 に注意。  
下書き線 ( 薄く細い線 ) で描く。



### 3 . 壁、柱の厚み

- ( 1 ) 壁の厚さを中心線から75程度づつ振り分ける。
- ( 2 ) 柱の太さを中心線から75程度振り分ける。

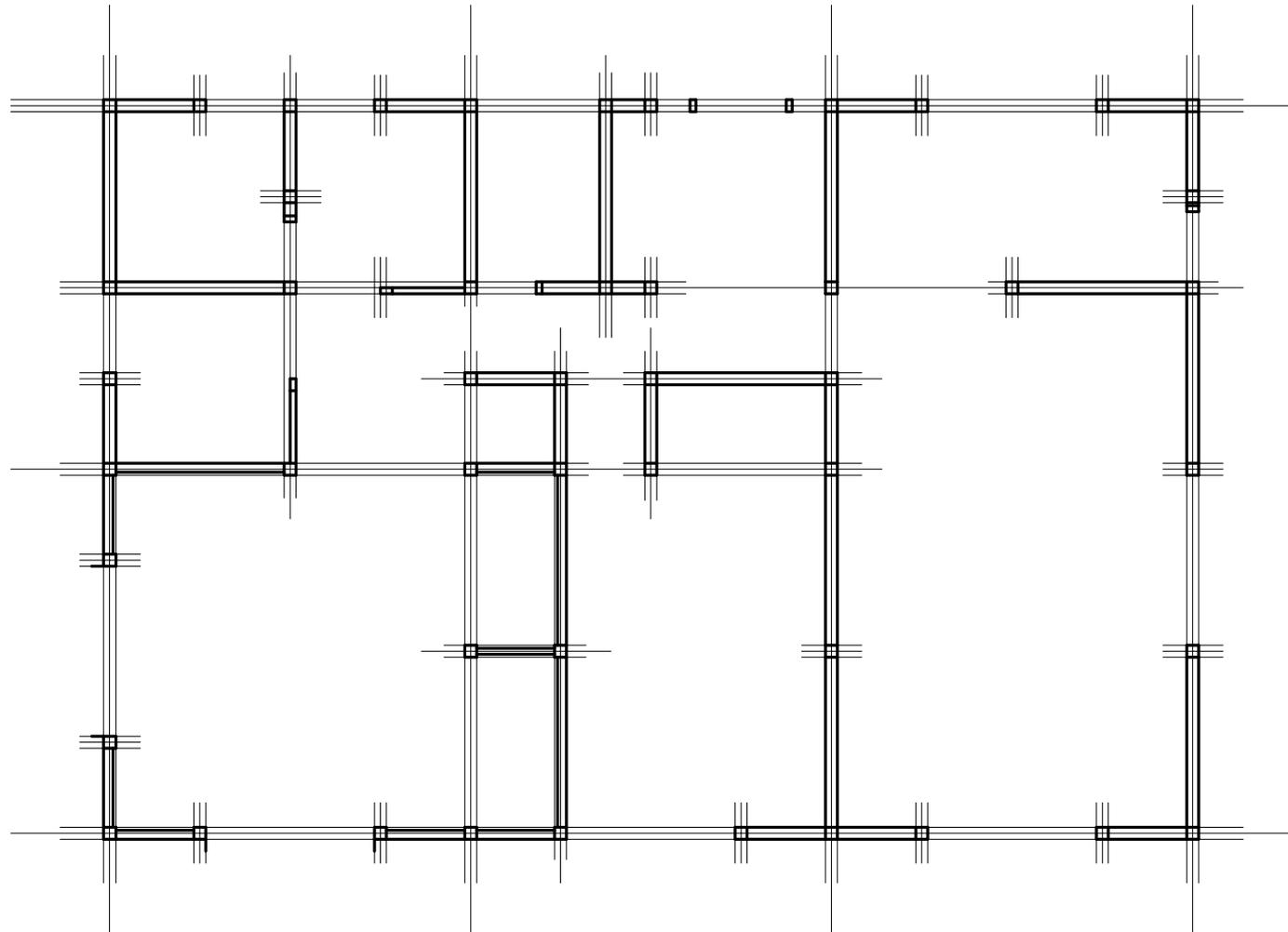
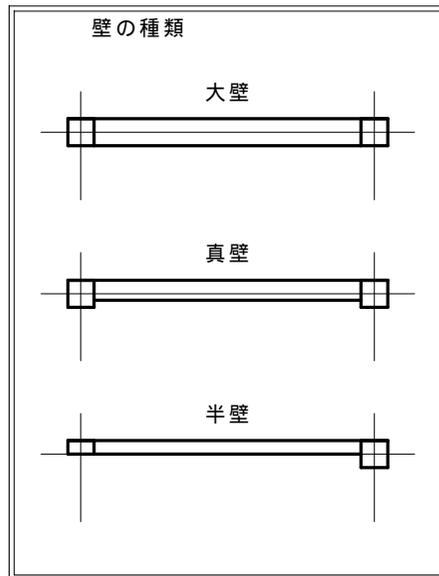
縮尺1/50に注意。  
壁の厚さ、柱の太さは150程度。  
下書き線（薄く細い線）で描く。



## 4 . 壁、柱の仕上げ

壁、柱を仕上げ線で描く。

仕上げ線（太くハッキリとした線）で描く。  
壁の違い（大壁、真壁、半壁）に注意。



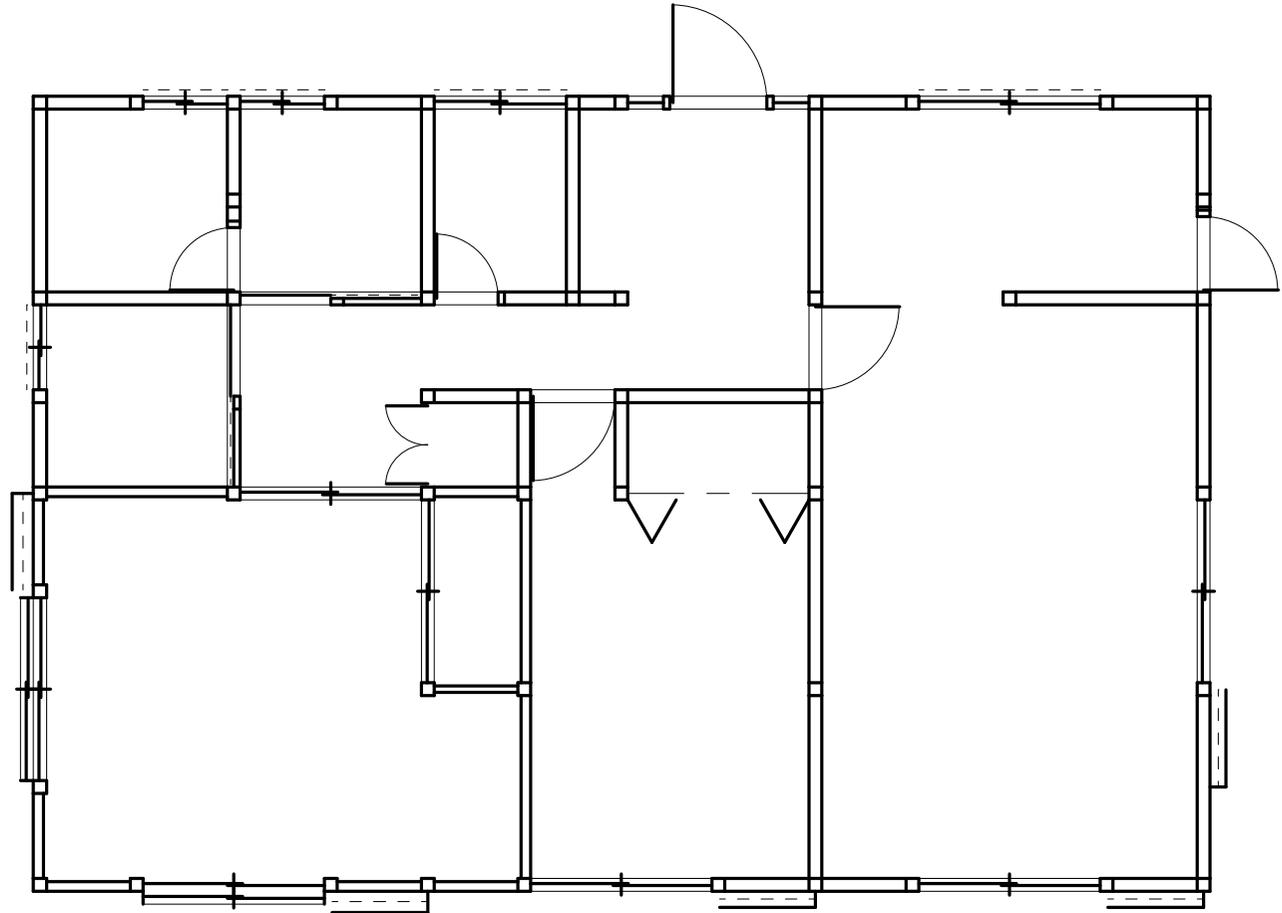
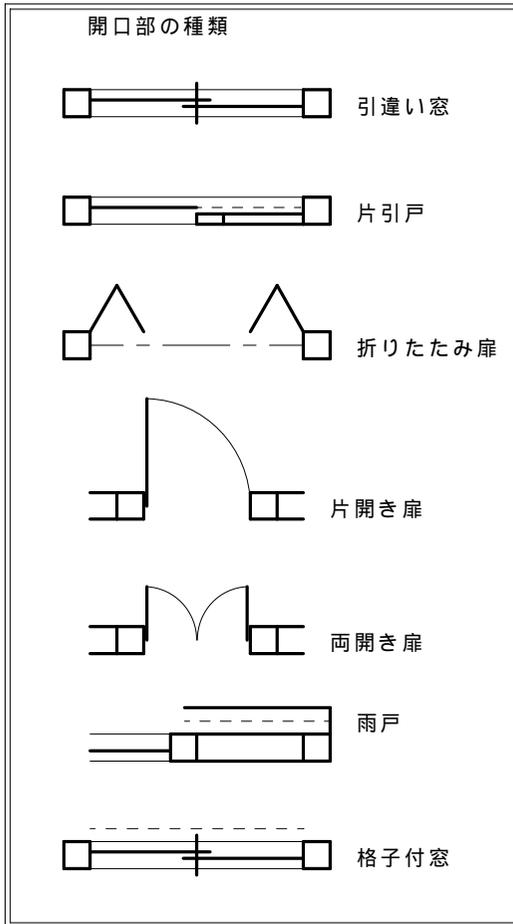
## 5 . 開口部

開口部（窓、ドアなど）を記入。

開口部の種類に注意。

外に面する開口部には、雨戸や格子があります。

線の太さ（太・細）に注意して描く。

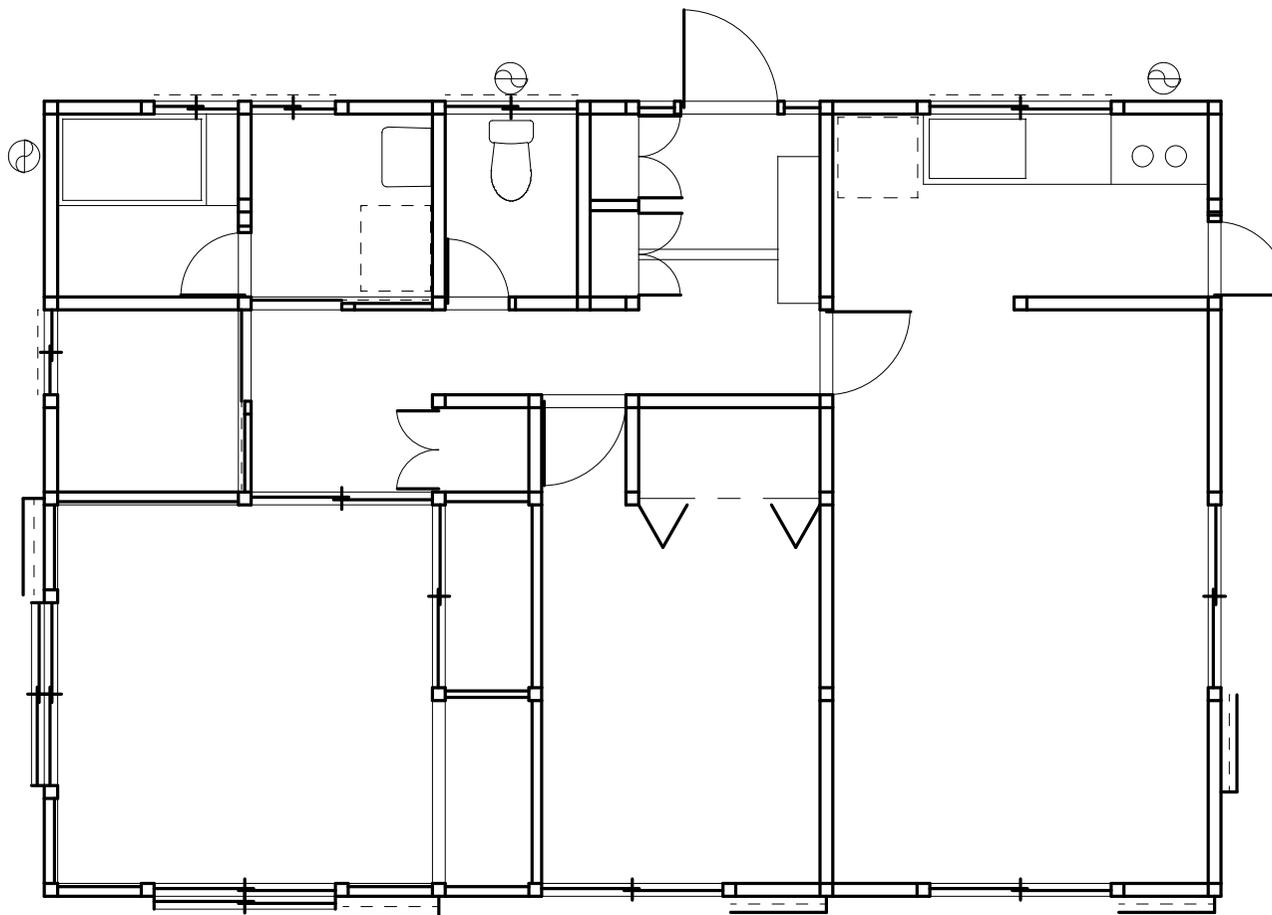


## 6 . 設備機器、床仕上げ

資料 6

( 1 ) 設備機器 ( 便器、洗面、流し台、換気扇など ) を記入。  
テンプレート等を使用。

( 2 ) 床仕上げを記入。  
種類 ( 畳、タイル ) に注意。  
細い線で描く。  
冷蔵庫や洗濯機は点線。



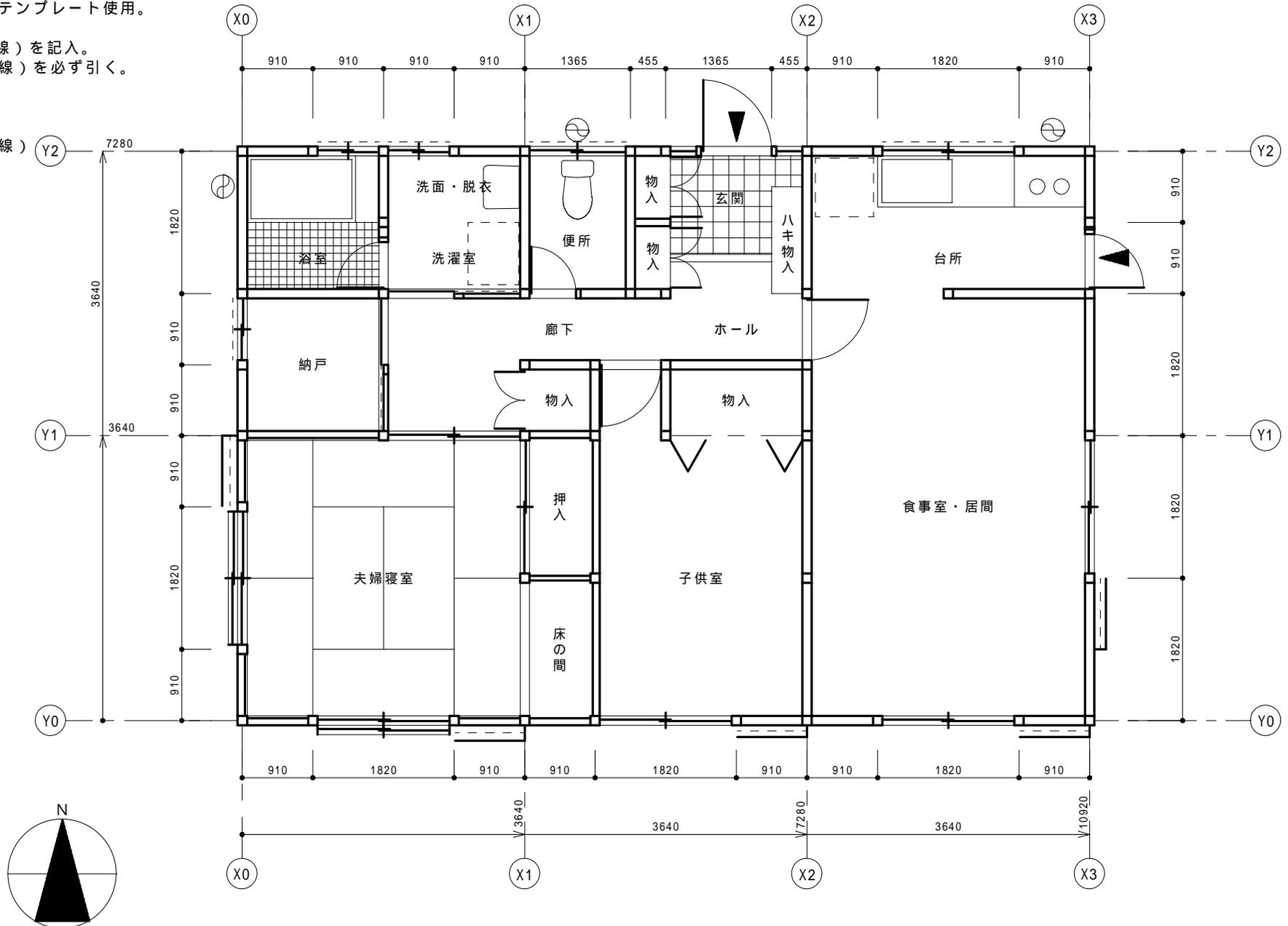
## 7. 基準線、寸法、室名、方位

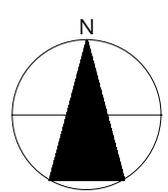
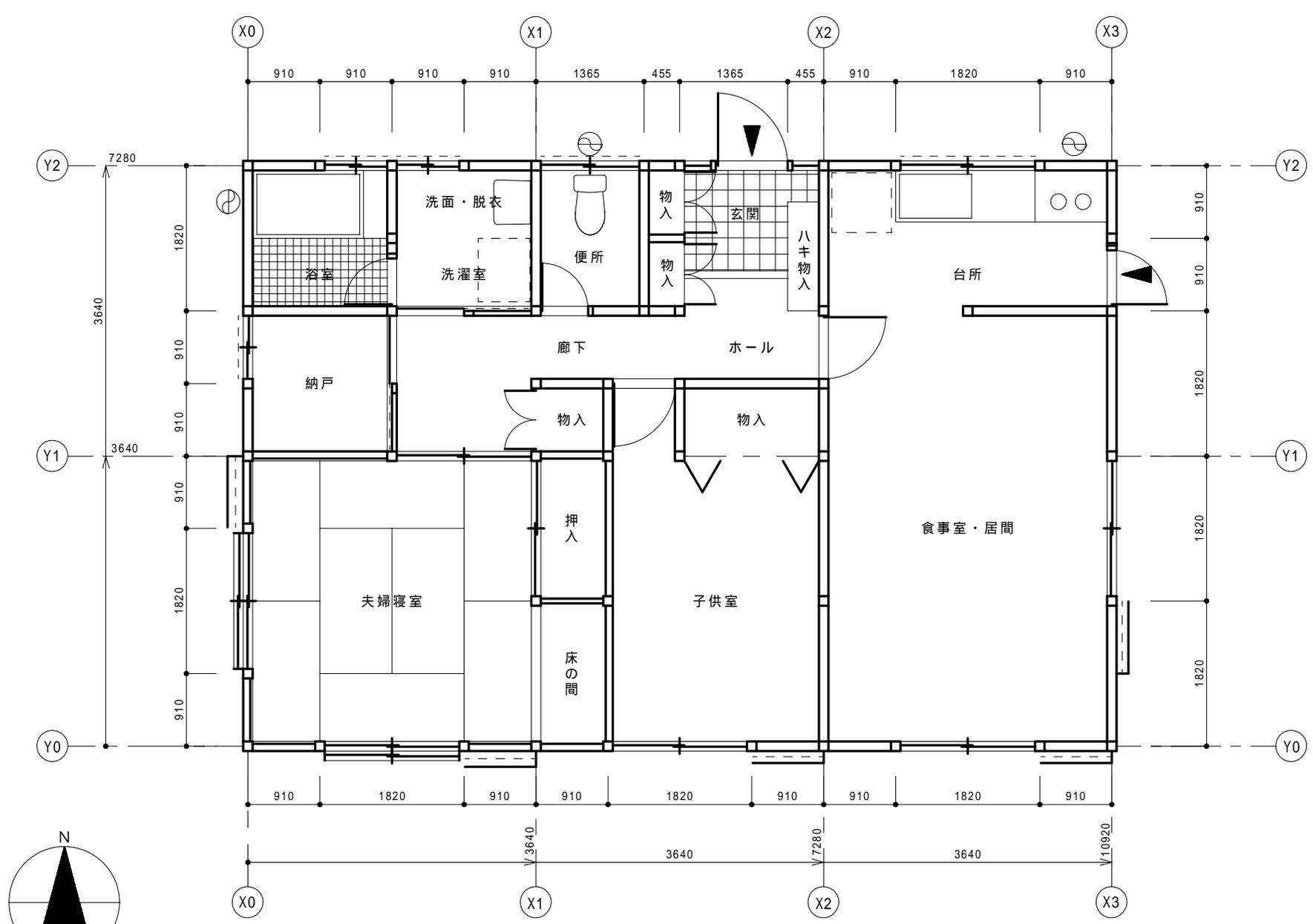
資料 7

(1) 基準線を記入。  
一点鎖線はテンプレート使用。

(2) 寸法(寸法補助線)を記入。  
案内線(下書き線)を必ず引く。  
文字幅は3.5mm。

(3) 室名を記入。  
案内線(下書き線)を必ず引く。  
文字幅は3.5mm。





表題	木造平屋建住宅 作図練習			学校名			
図名	平面図	縮尺	1 / 50	学科学年	建築科 1年	氏名	